

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
社会福祉学		1	15	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		講義室	
河本 玲子		講義		203・204 教室	
目 標	毎時間配布する確認シートを記入することができる。 提示された事例に関し、適用できる現在の日本の社会福祉を列挙できる。 (公的サービス、民間サービス、個人レベルの助け合いなど多面的な視点を持つ)				
授 業 の 概 要	1. 社会福祉とは 児童福祉 児童を取り巻く現状と福祉制度 2. 低所得者への福祉 低所得者を取り巻く現状と福祉制度 3. 障害者福祉① 障害者を取り巻く現状、障害者福祉理念の変遷 4. 障害者福祉② 障害者を支える制度 5. 高齢者福祉① 高齢者を取り巻く現状 6. 高齢者福祉② 高齢者を支える制度、介護保険制度 7. 医療福祉 日本の医療保険制度 8. 地域福祉 地域福祉の考え方と現状				
教科書	随時資料を配布				
成 績 評価法	筆記試験にて評価を行う。				
備 考					

授業科目		単位数	単位数	対象学年	学期
運動学Ⅲ		2	30	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
松原 早苗		講義		木工・金工室	
目 標	解剖学・生理学を基礎として、関節運動に関わる身体の構造や、関節運動が起こるメカニズムについて体幹・下肢関節・歩行を中心に学習する。 ①各関節の構造の特徴と機能について説明できる ②各関節運動の主動筋、補助動作筋、拮抗筋を列挙できる ③各関節運動のメカニズムを説明できる ④正常歩行に関する用語を正しく使用し、歩行運動を説明できる				
授 業 の 概 要	1.股関節の運動 ①構造と機能 2. 〃 ②筋の働き 3. 〃 ③運動メカニズム 4. 膝関節の運動 ①構造と機能 5. 〃 ②筋の働き 6. 〃 ③運動メカニズム 7. 足関節の運動 ①歩行周期 8. 〃 ②構造と機能 9. 〃 ③筋の働き 10. 〃 ④運動メカニズム 11.歩行の運動学 ①基本用語の確認 12. 〃 ②関節運動と重心移動 13. 〃 ③筋活動 14. 腰椎・骨盤帯の運動 15.まとめ				
教科書	【教科書】 ・基礎運動学（医歯薬出版） ・運動学テキスト（南江堂） 【参考書】 ・筋骨格系のキネシオロジー（医歯薬出版） ・PT・OT 基礎から学ぶ運動学ノート（医歯薬出版） ・運動学要点生理ノート（羊土社）				
成 績 評価法	期末試験、授業態度などにより総合的に評価する 運動学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの出席・成績は、それぞれ1科目として個別に取り扱う。				
備 考					

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
人間発達学		1	15	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
一色 一美		講義		203・204 教室	
目 標	・運動、認知、社会性の発達を学びます。 ・幼児期までの各発達の段階が理解でき、それぞれのマイルストーンが正確に答えられることを目標とします。				
授 業 の 概 要	1. 運動発達 背臥位 腹臥位 座位 2. 運動発達 立位 歩行 3. 運動と反射 4. 運動発達 手 5. 知性の発達 感覚 6. 知性の発達 言語 7. 社会の発達 感情 心 8. まとめ				
教科書	発達を学ぶ ー人間発達レクチャー ー（共同医書出版社）				
成 績 評 価 法	期末テストによって判定				
備 考					

授業科目		単位数	時間	対象学年	学期
病理学概論		1	15	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		備 考	
山本 美佐		講義		203・204 教室	
目 標	病理学とは医学の基礎であり，病気の原因とその成り立ちを追求することにより、病期の本態を追求する学問である。理学療法学・作業療法学を学ぶ学生には、病理学の概念を理解し、卒業後も常に念頭において医療を行う必要がある。 全身各臓器に共通する基本的な病理学的変化とその成立機序を学び病理学的専門用語や医学用語の正しい意味を理解する。				
授 業 の 概 要	解剖学や生理学についての <u>基本的事項を復習して講義に臨むこと</u> 。 1. 病理学の概要・病因論・退行性病変 2. 代謝異常・進行性病変 3. 循環障害 1 4. 循環障害 2 5. 免疫アレルギー 6. 腫瘍 1 7. 腫瘍 2・放射線障害 8. 老化・先天異常				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 病理学 医学書院				
成 績 評価法	期末試験を実施し判定する				
備 考	解剖学・生理学との関わりが深いので十分理解して講義に臨むこと				

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
運動器障害学		2	30	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
山本 悟		講義		203・204 教室	
目 標	・各種整形外科疾患の病態について説明できる。 ・各種整形外科疾患の治療法の概要について説明できる。				
授 業 の 概 要	1. 整形外科総論 2. 骨折総論① 3. 骨折総論② 4. 骨折各論① 5. 骨折各論② 6. 代謝性疾患① 7. 関節の外傷① 8. 関節の外傷② 9. 末梢神経損傷 10. 炎症性疾患① 11. 炎症性疾患② 13. 脊椎疾患 14. 循環障害、先天性疾患 15. スポーツ傷害				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 整形外科学（医学書院） 標準整形外科学(医学書院) 随時資料を配布する。				
成 績 評価法	筆記試験にて評価を行う（中間試験50％、期末試験50％）				
備 考					

授業科目		単位数	時間	対象学年	学期
内部障害学		2	30	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
長谷 亮佑		講義		203・204 教室	
目 標	理学療法・作業療法を行う患者の多くは何らかの疾患を抱えており、その疾患の概要を知らなければ、正しく安全な理学療法・作業療法を行うことはできない。 本授業では、内科の主な疾患の病態、症候、さらには検査、診断、治療などに関して学び、理学療法・作業療法を行う上で必要な基礎知識を身につける。				
授 業 の 概 要	1. 症候学 2. 循環器疾患① 3. 循環器疾患② 4. 呼吸器疾患① 5. 呼吸器疾患② 6. 消化管疾患 7. 肝胆膵疾患 8. 血液・造血器疾患 9. 代謝性疾患 10. 内分泌疾患 11. 腎・泌尿器疾患 12. アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症 13. 感染症 14. 内科学演習①				
教科書 資料	標準 理学療法学・作業療法学 内科学 （医学書院） 授業スライドの配布物				
成 績 評価法	期末試験				
備 考					

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
発達障害学		1	15	OT/PT 2年	後期
担当教員		授業形態		主な講義室	
一色 一美		講義		203・204 教室	
目 標	体の成長に伴って発達する 認知や社会適応の発達を理解し、障害が与える影響を学びます。 臨床場面で多くみられる疾患の理解と、正常発達との違いを学習します。 ・各反射・反応の出現・統合の時期と、それらに関連する粗大運動が答えられることと、各疾患の特徴と異常発達について説明できることを目標とします。				
授 業 の 概 要	1. 発達について 正常と異常 2. 運動の発達 認知・遊びの発達について 3. 脳性麻痺とその異常発達について 4. 重症心身障害児について 5. その他の疾患について 6. 感覚の発達・社会適応について 7. 発達障害について 8. まとめ				
教科書	知りたかった！PT・OTのための発達障害ガイド（金原出版） 適宜プリントを配布する				
成 績 評 価 法	期末テストによって判定				
備 考					

授業科目		単位数	時間	対象学年	学期
神経障害学		2	30	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		主な講義室	
西原 秀昭 他		講義		203・204 教室	
目 標	神経内科学について基礎的な事項を学ぶ				
授 業 の 概 要	1. 神経学的診断法① 2. 神経学的診断法② 3. 神経症候学① 4. 神経症候学② 5. 脳血管障害 6. 脳腫瘍、中枢神経系の外傷 7. 神経感染症 8. 中枢神経脱髄性疾患、運動ニューロン疾患 9. 認知症 10. 錐体外路疾患、脊髄小脳変性症 11. 脊髄・脊椎疾患 12. 末梢神経障害 13. 神経筋接合部・筋疾患 14. 中毒、栄養欠乏、内科疾患に伴う神経疾患 15. 先天異常、代謝性疾患				
教科書	標準理学療法・作業療法学 神経内科学 (医学書院)				
成 績 評価法	試験結果				
備 考					

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
精神医学		2	30	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		講義室	
渡辺慎介・外部講師（山口大学医学部）		講義		203・204 教室	
目 標	GIO（一般目標）：作業療法士・理学療法士にとって重要な精神医学的知識についての基本的な知識を習得する。 SBOs（行動目標） 1. 精神障害の歴史、定義等を説明できる。 2. 精神科における治療法を説明できる。 3. 各疾患の病態を説明できる。 4. 実習等で必要な関わり方の留意点を説明できる。				
授 業 の 概 要	1・7～15 は渡辺が担当し、2～6 は外部講師が担当する。 1. オリエンテーション 2～6. 精神科医療、精神医学とは？（精神科医療の歴史、心理現象の生物学的基礎、精神障害の定義と分類、精神科的面接・検査） 精神科の治療法（薬物療法、精神療法、精神科リハビリテーション、法と精神医学） 7. 統合失調症①（症状） 8. 統合失調症②（行動特性） 9. 気分障害（躁病、うつ病） 10. 神経症とストレス関連障害 11. 人格障害、摂食障害 12. 外因性精神障害（認知症）、老年期精神障害 13. 物質依存症（アルコール依存症、薬物依存） 14. 発達障害（児童・青年期の精神障害）、知的障害、てんかん 15. まとめと試験対策				
教科書	専門医がやさしく語る はじめての精神医学 改訂第2版（中山書店）				
成 績 評価法	総括的評価：期末試験 形成的評価：小テスト（講義毎に小テストを実施、国家試験の過去問から出題）				
備 考					

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
臨床心理学		2	30	OT/PT 2 年	後期
担当教員		授業形態		主な講義室	
星山春香		講義		203・204 教室	
目 標	医療や福祉の現場では、身体の健康と共にこころの健康も考えていくことが必要である。本講義では、こころの健康を援助するための臨床心理学の基礎的な考え方と実践方法、また疾患や障害の特性を学び、理学療法、作業療法に役立てる。				
授 業 の 概 要	1．オリエンテーション 2．臨床心理学とは 3．こころの発達と臨床心理 4．心理アセスメント 5．心理検査 6．精神疾患について 7．双極性障害とうつ病 8．神経症 9．パーソナリティ障害 10．パーソナリティ障害 11．発達障害 12．心理療法とは 13．精神分析療法 14．クライアント中心療法 15．認知行動療法				
教科書	『改訂版 臨床心理学概説』 馬場禮子著（放送大学教育振興会） 適宜、資料を配布				
成 績 評価法	期末テスト、授業態度、出席で総合的に評価				
備 考	上記内容は必要に応じて変更を加える				

授業科目		単位数	時間数	対象学年	学期
リハビリテーション医学		1	15	OT/PT 2年	前期
担当教員		授業形態		講義室	
濱本 尊博		講義		203・204 教室	
目 標	リハビリテーションにおける代表的な疾患について障害像を把握し、各疾患のリハビリテーションの流れなどについて説明できる。また、リハビリテーションの主要な対象疾患に関する OT 、 PT として必要かつ基本的な評価と治療を想起できる。				
授 業 の 概 要	1. リハビリテーション医学総論、リハビリテーション関連職種 2. 障害の評価（意識障害・運動麻痺） 3. 障害の評価（筋力低下・ROM 制限・運動失調・筋トーン異常） 4. 障害の評価（感覚障害、反射、知能障害、言語障害、高次脳機能障害） 5. 障害の評価（心理障害、発達障害、嚥下障害、心機能障害、呼吸器障害、ADL 障害）、評価のまとめ 6. 障害の評価（心理障害）評価のまとめ 7. グループワーク（脳血管障害の治療） 8. グループワーク（脳血管障害の治療）・まとめ				
教科書	適宜資料を配布				
成 績 評価法	期末試験、課題などにより総合的に評価する。				
備 考					